

令和2年度第1回土木建築部公の施設に係る指定管理者制度運用委員会  
平成31年度（令和元年度）指定管理者モニタリング検証結果について  
（与那原マリーナ）

- 1 開催日時 令和2年11月19日（木） 11:04～11:45（説明及び質疑）
- 2 開催場所 与那原マリーナ 研修室
- 3 出席状況 委員4名中、4名出席  
委員 沖縄女子短期大学総合ビジネス学科教授 渡久地 啓  
委員 鈴木和子税理事事務所税理士 鈴木 和子  
委員 桜設計工房代表取締役社長 喜名 英之  
委員 （一社）日本マリン事業協会沖縄県支部長 眞喜志 康則

4 質疑概要

(1) 指定管理者から施設概要、モニタリング実施結果報告等について説明を行った。

(2) 委員からの主な意見（質問）等 ●委員、○指定管理者、◇県

●まだ陸上が空いている（契約が少ない）ようだが。

○陸置きするには台車が必要であり、海上と異なりすぐには埋まりづらい。そのため、今年度も県により台車を整備しているところである。

●与那原は宜野湾より料金が高い。また西より東は静かであり、そのため閉鎖的にも感じる。

○ルールに沿って運営しており、あえて厳しくしている。施設内でメンテナンスを行う業者へは所要の料金を課し、一部水上バイクの持ち込みも制限している。ここは開港でありセキュリティを高めており、それが利用者からは賛同も得ている。しかし緑地などは出入り自由で、休日は家族でのピクニックなどもされている。

●施設はまだ新しいが、やはり海沿いなので風も強い。劣化も早いし屋根瓦の飛来等にも注意頂きたい。

●陸置きと海上係留ではどちらが船舶の劣化は早いのか。

○海上係留の方がフジツボの付着や電解も進む。しかし、出港したい時にすぐに出港できる。メリット、デメリットが共存している。

●現在の課題は何か。

○施設の使用料で特にクレーンの使用料が安いと考える。近隣の漁船もくるため地域には貢献していると思うので重宝はしている。

●利用者の声を拾うためのアンケートは今後どうするのか。

○意見箱を設置しているが、何か意見がある時は全て口頭によるものである。アンケートは今後検討したい。